

科目・コース（ユニット）名： 病理学（病理学総論 II）【医学 2】
英語名称：Pathology (Pathology basis 2)

【担当責任者】 千葉 英樹（基礎病理学）

【連絡先】 p2@fmu.ac.jp

【開講年次】 2 年，【学期】 2 年後期，【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義／実習

【概要】

本講義・実習では、病気の原因や成立機序および肉眼・組織像を個体・臓器・組織・細胞・分子レベルで学ぶ。入門では病気の種類、病気に関わる生理・病理現象を学ぶ。循環障害総論では、心血管系に生じる様々な疾患について学ぶ。腫瘍総論では、腫瘍とはどのような疾患か、どのようにして発生・進展していくのかを学ぶ。老化総論では、老化と病気の関連について学ぶ。また病理実習では、「病気の場合としての組織・細胞」という視点を修得する。神経病理学総論では、神経疾患の基礎知識を学ぶ。

【学習目標】

- 1) 病気の種類や病気に関わる現象を説明できる。
- 2) 循環障害や腫瘍の原因や成立機序および肉眼・組織像を説明できる。
- 3) 老化や神経疾患の基礎を説明できる。

【教科書】

ロビンス基礎病理学（丸善出版）

【参考書】 以下を参考図書とする。

ルービン病理学（西村書店）

解明病理学―病気のメカニズムを解く（医歯薬出版）

ダイナミック病理学（西村書店）

病態病理学（南山堂）

カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断（医師薬出版）

標準病理学（医学書院）

【成績評価方法】

- 1) 評価方法： 出席、授業態度、実習、中間・期末試験などにより総合的に判定する。
- 2) 受験資格： 出席率が3分の2に満たない場合、実習スケッチ・課題が未提出あるいは不合格の場合、授業態度が著しく不良な場合は、試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】 該当なし

【垂直的統合授業の実施内容】

解剖学、組織学、生理学など幅広い基礎医学をベースとして、病理学総論の授業を実施する。

【授業スケジュール】

令和8年度（2026年度）第2学年 病理学総論Ⅱ 講義日程・内容

回数	月 日	曜日	時限	項目	内容（キーワード等）	担当者
1	9月18日	金	4	入門（講義）	（講）病理学では何を学ぶか	千葉英樹
2			5	入門（講義）	（講）病理学では何を学ぶか	千葉英樹
3			6	腫瘍（講義）	（講）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
4	9月25日	金	4	腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
5			5	腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
6			6	腫瘍（講義）	（講）腫瘍の分類（上皮性・非上皮性腫瘍）	千葉英樹
7	10月1日	木	2	腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
8			3	腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
9	10月13日	火	4	腫瘍（講義）	（講）癌の浸潤と転移	千葉英樹
10			5	腫瘍（実習）	（実）癌の浸潤と転移	千葉英樹
11			6	腫瘍（実習）	（実）癌の浸潤と転移	千葉英樹
12	10月15日	木	2	循環障害（講義）	（講）充血とうっ血、浮腫	千葉英樹
13			3	循環障害（講義）	（講）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹
14	10月27日	火	4	循環障害（実習）	（実）充血とうっ血、浮腫	千葉英樹
15			5	循環障害（実習）	（実）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹
16			6	循環障害（実習）	（実）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹
17	10月29日	木	2	腫瘍（講義）	（講）腫瘍がん遺伝子	杉本幸太郎
18			3	腫瘍（実習）	（講）腫瘍がん遺伝子	杉本幸太郎
19	10月30日	金	4	腫瘍（講義）	（講）腫瘍がん遺伝子	杉本幸太郎
20			5	腫瘍（講義）	（講）腫瘍がん遺伝子	杉本幸太郎
21			6	腫瘍（講義）	（講）腫瘍がん遺伝子	杉本幸太郎
22	11月12日	木	2		中間試験	
23			3		中間試験	
24	11月17日	火	2		中間試験 総括	千葉英樹
25			3		中間試験 総括	千葉英樹
26			6	腫瘍（講義）	（講）各臓器の癌①	小林靖幸
27	11月20日	金	7	腫瘍（講義）	（講）各臓器の癌①	小林靖幸
28			4	腫瘍（実習）	（講）各臓器の癌①	小林靖幸
29			5	腫瘍（実習）	（講）各臓器の癌①	小林靖幸
30	12月1日	火	6	腫瘍（実習）	（講）各臓器の癌①	小林靖幸
31			4	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
32			5	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
33	12月7日	月	6	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
34			4	神経病理（講義）	（講）正常脳、中枢神経系の発生と分化、脳血管病変	杉本幸太郎
35			5	神経病理（実習）	（実）脳腫瘍、脳の感染性疾患、脱髄疾患	杉本幸太郎
36			6	神経病理（講義）	（講）アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症	杉本幸太郎
37	1月8日	金	7	神経病理（実習）	（実）アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症	杉本幸太郎
38			2	腫瘍（講義）	細胞診	小林靖幸
39			3	腫瘍（講義）	老化	杉本幸太郎

【担当教員】

教員氏名	職	所属
千葉英樹	教授	基礎病理学講座
小林靖幸	助教	基礎病理学講座
杉本幸太郎		札幌医科大学・准教授（非常勤医師）
五十嵐誠治		坪井病院病理診断科・部長（非常勤医師）

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

病理診断の医師として実務経験のある教員が実施する。

その他（メッセージ等）：

- 1) 病理学を理解するためには、生体の正常構造と機能を理解した上で、その異常がどう病気に結びつくかを学ぶ必要があります。病理学が対象とする範囲は非常に広く、専門分野を問わず医療に携わる者にとって不可欠な学問体系です。与えられた授業時間内で全ての疾患を説明することは不可能ですので、不足分は自学自習により補って下さい。
- 2) 病理実習は、学生自らが「病気の場合としての臓器・組織・細胞」という視点を体感できる貴重な機会です。バーチャルスライドや顕微鏡によって、「この病変は何か?」、「どうしてこうなるのか?」等じっくりと考えて生きた知識を身につけ、不明点については積極的に質問して下さい。なおスケッチやレポートは、必ず実習時間内に終了して提出して下さい。合格点に達しないものは再提出になります。
- 3) 病理学はその性格上、臨床医学と基礎医学との橋渡しの役割を担っています。しかし病理学総論の開講時期には臨床講義が始まっておらず、臨床のイメージを思い浮かべることが困難な場合も多々あります。したがって、学んだ疾病の主な臨床像については、臨床系の教科書で確認して下さい。
- 4) 病理に興味のある学生は、基礎病理学講座に遠慮なく来て下さい。一緒に顕微鏡を覗いてディスカッションすることによって、多彩な疾患について更に勉強できます。